

緑の語り場 高校生・高専生フォーラム  
森を未来へつなぐには ～木を活かしたまちづくり～

日時:2025年8月26日(火)14時00分～16時30分

場所:KIITO 3階 303

参加学生:15名

主催:神戸市建設局森林・防災部森林課

○ 当日の内容

1:黒田副市長より話題提供

2:木材利用事例紹介

3:エキスパート紹介(各エキスパートより自己紹介)

- ・株式会社紅中 高田 尚使
- ・合同会社 六甲山クリエイティブラボ代表 野口 僚
- ・SHARE WOODS. 代表 山崎 正夫
- ・神戸大学大学院農学研究科 2年 門 雅稀

4:ワークショップ

各エキスパートがA～D班のグループを回りアドバイスをしながら、以下について、各グループでアイデアをだしてもらいました。

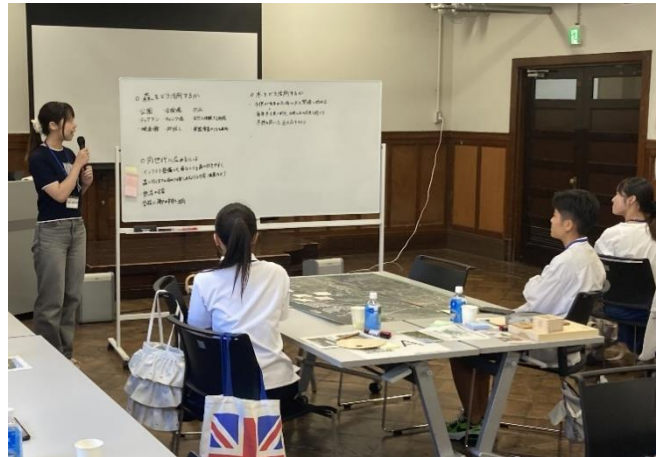
- ・神戸で森や木材をどのように活用できるか
- ・若い世代に知ってもらったり、活用してもらったりするためにはどうすればいいのか



ワークショップの様子

## 5: 学生による発表

ワークショップで話し合った内容について、各班から発表してもらいました。  
高校生・高専生ならではの視点で、たくさんのアイデアをいただきました。  
今回いただいたアイデアは、今後の施策検討の参考にさせていただきます。



発表の様子

～学生の主なアイデア(発表時のもの)～

(1)森について

- ・若者は流行に敏感、LIVE会場やカフェ、イルミネーション、トリックアート
- ・少しでもインパクトのあるものが森の中にあったほうが良い
- ・アスレチック、登山しながらのスタンプラリー
- ・キャンプ・グランピング施設
- ・山中で宝さがし
- ・学校見学の際に森に入ってもらうなど
- ・部活動の合宿で森に行く
- ・ロケ地にすると良い。あいな里山公園でロケ撮影があった
- ・有馬温泉をロケ地にするのが良い、有馬温泉は温泉以外に何もないので、施設巡りを含めて聖地にする
- ・テーマパーク温泉だけじゃなくてアスレチックなどの施設も含めたテーマパークができれば良いと思う
- ・広葉樹林のハイキングルートがあれば良い

(2)木材について

- ・母子手帳に木材を使う
- ・公園の伐採で出た木を使っておもちゃを作る
- ・小中学校に木材を活用したものを置く
- ・住宅や建物の木造化
- ・アスレチックや神戸の土産に活用
- ・交流する施設を木材活用して整備
- ・同じ世代で集まれるのはいいことだと思うので、森でやったほうが良い
- ・自分の地域だけではなく、日本ないし世界中で使われるようにすれば良い
- ・神戸空港、三宮、有馬温泉で使ってほしい
- ・学校では活用の授業、スキー場(木材が使われているところに行く)などで広めていく
- ・都市部においては訪日外国人が多い。今ある木の価値を上げるにはお土産が良い
- ・外国人にとって、木材で作った酒柘は良いお土産になる
- ・ホテルの中の照明やトレーを木材にすれば喜んでもらえる
- ・広報、お土産や人目に付くところにオブジェを置く
- ・危険な街路樹を活用してチップ化して燻製をつくる、炭にしてバーベキューをする
- ・積極的に活用することで日本全国の自治体に対しての成功例になる
- ・神戸で切った木を自分たちで使う、持続可能なビジネスになる
- ・初期投資・支援を自治体が積極的に支援してほしい

(3)その他

- ・こどもが生まれるときから自ら木を管理する(こどもと一緒に木が成長)
- ・森に行くインフラを整備してほしい(車でしか行くことができず、高校生はなかなか自力で行くことができないため)
- ・森や山へ出かける際の交通費の割引をしてほしい(高校生としては、交通費が高いことが障害になることがある)
- ・森や山へ出かけるための交通手段として、ロープウェイなど興味の引くものが欲しい、「楽しくてかわいい」ものだと良い(布引ハーブ園のロープウェイの色・形がかわいい)
- ・森に行く道中を楽しくすると良い(乗馬など)